

二中学区地域の輪をつくる会

3つの誓い

- ・ふれあいの輪を 広げましょう。
- ・あいさつを かわしましょう。
- ・明るい家庭生活を 築きましょう。

vol.82

ふくわ

●発行 二中学区地域の輪をつくる会 ●編集 広報委員会 ●事務局 市毛コミュニティセンター内・ひたちなか市市毛980・TEL.029(272)3766 ●印刷 弘美印刷(株)



三行事の1つである第31回「コミュニティまつり」を11月12日(土)・13日(日)市毛コミュニティセンターとその周辺で開催しました。

館内では多くの芸術作品の展示、館外は模擬店や趣向をこらしたイベントなどで賑わいました。好天にも恵まれ、大勢の来場者により盛大に地域交流ができました。



- ご芳志
ありがとうございました
- 新井接骨院 順不同 様
 - 船勢鮎 様
 - (有)三浦屋 平野 健太郎 様
 - 介護老人福祉施設 北勝園 様
 - 鹿島神社 総代 照沼 祐輔 様
 - (有)コスモビル管理 勝田支店 様
 - 常陸農業協同組合 勝田支店 様
 - 湊中学区地域を 住みよくなる会 会長 小沼 慶三 様
 - 佐野の和を推進する会 会長 西野 滋夫 様
 - 二中学区地域の輪を つくる会 前文化部長 永井 正男 様
 - 二中学区地域の輪を つくる会 軍司 清 様
 - 勝田第二中学校 様
 - ひたちなか市議会議長 様
 - ひたちなか市長 様

「コミュニティまつり」ご芳志一覽

実践部会活動報告

体験学習3

青少年部会

子どもたちに、楽しく、白と杵でのもちつき体験をしてもらおうと、1月22日(日)「新春もちつき大会」を枝川小学校で開催しました。

児童・保護者124名が参加して、まず、折り紙でつくった凧あげと羽根つきなどの遊びで、気持ち良い汗をかきました。そして、自分たちでもちをつき、きな粉や大根おろしにからめてほおぼり、しるこや雑煮でおいしくいただきました。



新春もちつき大会

平成28年度後期事業紹介

体育部会

平成28年度後期体育部会では、10月に第2回ゴルフ大会をスパ&ゴルフにおいて24名の参加で開催し、地域の活性化を図りました。

11月には、コミュニティまつりにおいて、射的およびアメリカンドッグの販売を行



空カン・ゴミの仕分け作業

きれいな町づくりを目指して環境部会は毎年12月に、早

早戸川下流清掃実施

環境部会



コミセンまつり 射的で遊ぶ子供たち

い、子どもたちと楽しい触れ合いができました。また、理事研修として、ノルディックウォーキングを行い、体力の増進を図りました。12月には、卓球・ピンポン大会を開催し、多数の中学生の参加がありました。

なお、2月には、ふれあいスポーツ大会を行い、最終事業となりました。

戸川下流「枝川」地域のゴミ拾い清掃活動を実施していま

今年度も12月11日(日)に参加者19名が、数班に分かれて、空きカンやゴミなどを回収し、分別仕分け作業を行いました。地道な活動ですが、ゴミを無くすために、今後も引き続き実施していきたいと思いま

研修会実施

文化部会

10月16日(日)に県北芸術祭の奥久慈清流エリアを鑑賞する、文化部会主催の研修会を、参加者19名で開催しました。

好天に恵まれるなか5か所の展示会場で現代アートを存分に鑑賞しました。規模に圧倒されたり、技術に感嘆するなど、作品一つ一つに心が踊らされました。

開催期間の中盤とのことと混み合う時期でしたが、予定通り行程が進み存分に芸術を満喫した一日となりました。



旧大子町立上岡小学校にて

市毛コミセンまつり

安全福祉部会

11月13日(日)市毛コミセンにおいて、コミセンまつりが盛大に行われました。当部会もイベント部門に参加し、コミセンまつりの盛り上げにかかわる事ができました。

恒例の「みそおでん」販売では、前日からの仕込みにより、絶妙なタレに仕上げ、上々な売れ行きでした。子どもたちは、「自転車の安全な乗り方クイズ」にチャレンジして、グッズをゲットし、なかなかの好評でした。



模擬店(みそおでん販売)

青色パトロール出発式

12月18日(日)勝田二中地区自警団による、青色回転灯装備車出発式が、市毛コミュニティセンターにて実施されました。各地区から青色回転灯従事者及び関係者並びに市役所・警察署からのご来賓も参加され、厳粛な出発式の後、地域の安全・安心のための活動パトロールへと出発しました。

- ◇青色回転灯従事者です
- 軍司 清(津田第一)
- 間部 毅(津田第一)
- 堆正・和江(津田第二)
- 川原 武利(津田第三)
- 福田 貢一(津田西山)
- 古徳 廣國(市毛北)
- 照沼 章(市毛南)
- 和地 昭(市毛南)
- 郡司 利男(枝川)
- 久保野 馨(堀口)
- 大谷 孝一(武田)
- 高村 力男(勝田本町)



青色パトロール出発式



パトロールへと出発

「コミセン」シアター」に

津田コミセン

昨年8月27日(土)子どもたちにとって、夏休み最後の土曜日の夕方、1日限りの映画鑑賞会を実施し、ハリウッドアニメの「ミニオンズ」を上映しました。事前準備にDVDを借りる手続き、ポスターの作成、そして大会議室の天井や壁に暗幕張り、手作りの3mスクリーンの設置を行いました。



映画鑑賞会ポスター



映画鑑賞会会場

市民会議：初めて聞く方もいると思います。地方分権時代において、国と地方の果たす役割が大きく変化しています。市民である私たちは、今まで以上に市政へ関わり、私たち自らの責任で、自立したまちづくりを進めていくことが求められています。

私たちなか市では、平成22年4月1日、「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」が制定されました。この条例は、本市のまちづくりの最高規範です。

これからのまちづくりは、私たち市民がまちづくりの主体として自覚と責任を持ち、

市民会議って何？



2つの市民会議

市民と市が自由に意見交換

- ◆ 地域福祉の充実と実践
- ◆ 津田コミセンの今後のあり方



グループに分かれ意見交換

市民と市は適切に役割を分担し、「自立と協働のまちづくり」を進めていくこととなります。

この条例では、まちづくりに関する課題や市の施策などについて、市民と市が自由に

超高齢社会の中で、高齢者が明るく元気に過ごすことができる社会づくりが求められています。厚生労働省の統計によると高齢者人口（65歳以上）が、平成37年には365.7万人に達し、総人口の30.3%になる事が予測されています。

高齢化が進んだ今、健康面での不安、一人暮らし、老々世帯が増加しています。

二中学区には、平成16年11月から高齢社会を先駆的に見据え、旧津田保育所跡へ開設

「ワイワイふれあい館」をケーススタディとして

地域福祉の充実と実践

― 高齢者が住み慣れた地域で 安心した生活ができる社会を ―

運営されている「ワイワイふれあい館」があります。この施設は、学区内の数人の先達の要望により、市の理解を得て開設されました。開設以来12年が経過し、地域福祉の増進に寄与され、県内外から多くの団体が視察に訪れるなど、注目されています。

しかし、地域福祉の重要性を考え市民の力で先進的な地域活動として運営してきた「ワイワイふれあい館」のポランティアの方々も高齢となり、今後が危惧されています。

意見交換を行うため、「市民会議」の設置が規定されています。会議で提案され、公共の利益の増進に効果があると合意がされた結果は、市の施策に反映するように努めることも規定されています。

二中学区では、平成25年度に地域の方々から課題の提出をいただき、「市民会議」でテーマごとに、通学路の安全、不法投棄防止策を課題に取り上げ、解決策を協議し、一定の成果を得てきました。

昨年2月から老朽化した「津田コミュニティセンターのあり方」及び昨年12月には、「地域福祉の充実と実践：ワイワイふれあい館をケーススタディとして」の市民会議を発足し、地域として今後のあり方を、市を交えて検討しています。

今回、新たな課題として、地域福祉の観点から、この施設をケーススタディとして、市と住民の代表者や有識者で構成する「市民会議」を立ち上げました。昨年12月6日に第1回目の会議を開催し、平成30年2月まで、7回の会議を計画しています。

会議を進める中で、地域として、二中学区における高齢者に、何が必要か、将来に向かっての生きがい対策が見つけれれば、と願っています。

社会情勢が変化する中で、高齢者が住み慣れた地域で安心して、生き生きとした生活ができる社会ができません。どうでしょうか。



ふれあいサロン

今回、新たな課題として、地域福祉の観点から、この施設をケーススタディとして、市と住民の代表者や有識者で構成する「市民会議」を立ち上げました。昨年12月6日に第1回目の会議を開催し、平成30年2月まで、7回の会議を計画しています。

会議を進める中で、地域として、二中学区における高齢者に、何が必要か、将来に向かっての生きがい対策が見つけれれば、と願っています。


社会情勢が変化する中で、高齢者が住み慣れた地域で安心して、生き生きとした生活ができる社会ができません。どうでしょうか。

地域福祉座談会

「みつばちカフェ」

みんなが繋がったら 何ができるだろう

― 高齢者が元気に活躍できる 二中学区にするために ―




グループでの意見揭示

日頃、思っていることを気軽に話し合える場。井戸端会議・地域福祉座談会「みつばちカフェ」(主催：市・市社協)が1月20日(金)二中地区住民を対象に、市毛コミュニティセンターで開催されました。各自自治会役員、子ども会育成会、民生委員など60名が参加しました。

今回は、「みんなが繋がったら何ができるだろう」高齢者が元気に活躍できる二中学区にするために」を、テーマに話し合いが行われました。

参加者は5人1組の12グループに分かれ、テーマである高齢者が元気に活躍できる二中学区にするため、思っていること・考えていることの話し合いが行われました。

次のような意見が出され、パネルに掲示・発表されました。

- ① 参加しない・できない高齢者を誘うことが大切
- ② 元気な高齢者が、もっと活躍できる環境が大切
- ③ サロンを立ち上げ、活発にすることが大切
- ④ 歩いて行ける活動の場所があることが大切
- ⑤ 人とおしゃべりをする事が大切
- ⑥ 趣味・特技を生かした交流の場や機会づくりが大切
- ⑦ 子どもと高齢者がふれ合う場が大切
- ⑧ 隣近所とのつながりが大切
- ⑨ 多世代間の交流が大切

今回の座談会は、ファシリテーターとして活躍されている徳田太郎先生の指導で、円滑に進行されました。

今回のテーマは、市民会議で進めている「地域福祉の充実と実践」と共通するものでした。



築43年…老朽化した津田コミセンの今後のあり方

基本方針を策定し実現に向け市と協議

津田コミュニティセンター（旧津田公民館）は、昭和48年4月に開館されました。当時、津田地区の未来に期待を馳せる有志が寄附を募り、市の支援を得て、まさに地域の人たちによる地域のための施設として完成しました。現在では、年間3000件近い利用があり、地域に必要不可欠な施設となっています。

地域の中核的役割を担ってきたこの施設も、開館から43年の歳月が流れ、建物の老朽化が進んできました。また、時代の変化とともに、利用者のニーズも多様化し、地域のコミュニティ及び生涯学習の拠点としても十分とはいえない状況になってきました。さらに、



元気アップ体操

平成26年度から施設の管理運営が、市から二中学区地域の輪をつくる会へ移管されました。このような状況を踏まえ、二中学区地域の輪をつくる会では、平成28年2月「津田コミュニティセンターの今後のあり方」を、検討するため、市民会議を発足しました。

会議は、津田の五自治会（津田一、津田二、津田三、西山、津田東）から代表者各1名、コミセン職員2名、地域の輪をつくる会から4名の計11名で構成されています。

将来に向けた基本計画を策定するため、昨年12月、自治会・



津田コミセン全景

利用団体321名に、利用状況、満足度、優先すべき整備などのアンケートを実施し、303名（94.7%）の方から回答を得ました。この回答率の高さからも、次世代に繋ぐ施設として、住民及び利用者の関心の高さがうかがわれる結果となりました。

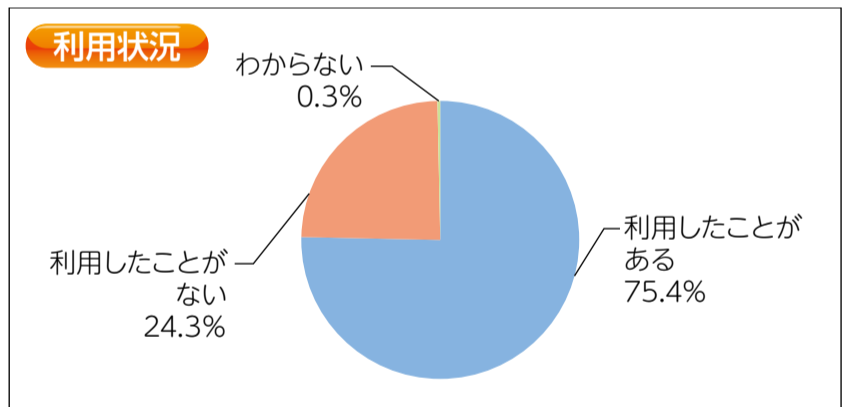
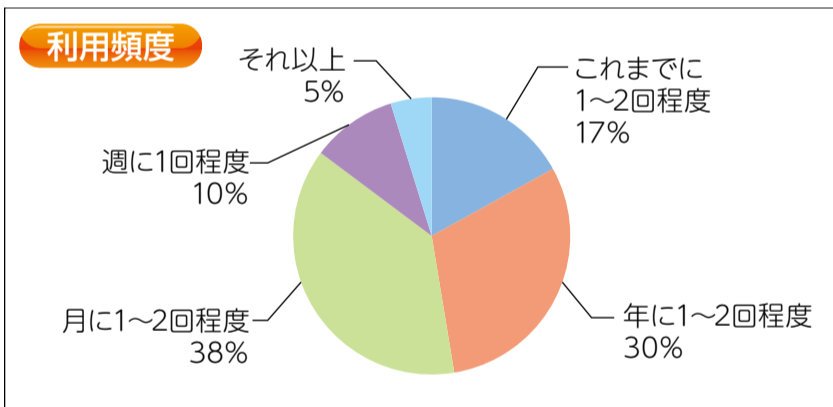
今後、二中学区市民会議として平成33年前後を目途に基本方針を策定する計画です。その後、市民会議の結果の実現にむけて、市の関係所管課と協議を進める予定です。



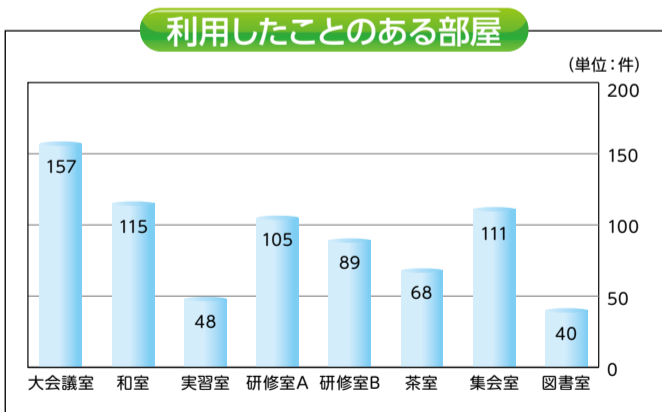
フラワーアレンジメント教室



新年は自作のしめ飾りで



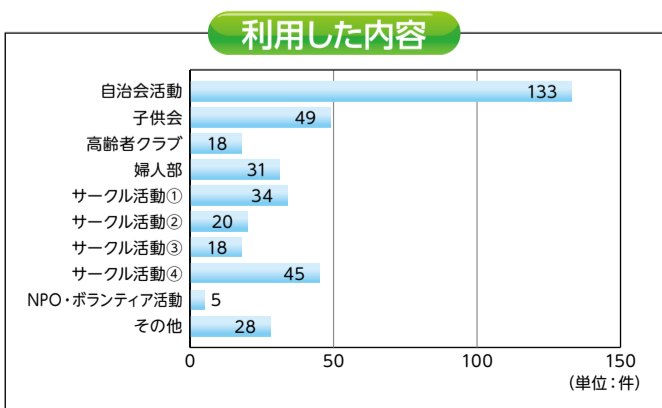
アンケート結果



先日、所用があつて、津田コミュニティセンターへ行きまして。帰ろうとして、駐車場を見ると、北勝園の車が駐車してあるのが目に入り、何をしているのか、事務所に尋ねました。

認知機能低下の予防「エンジョイつだ」の出張型予防の事業が行われていました。出張型の市が指定する新しい「介護予防・生活支援サービス」事業でした。自分の健康維持のため15名くらいの参加者は、北勝園の職員、ボランティアの方の指導で、体操や折り紙などに、真剣に取り組んでいました。

担当者に聞くと「要支援1・2の方（デイサービス等を利用していない方）と新総合事業対象者（市のチェックリストで事業対象者に該当した



方）が対象で、体操、脳トレ、口腔機能向上を主に行っているとのことでした。毎週水曜日の午前と午後に分け、それぞれ3時間程度の時間で開催しているそうです。

転倒予防、認知症予防、誤嚥予防など、高齢とともに、衰える機能を訓練して、いつまでも「明るく・楽しく・元気に生活ができるための事業」でした。

(M・S生)



認知症予防には体を動かすことも大切

地域トピックス

第40回津田コミセンまつり

津田五自治会

12月4日(日)快晴の中、「明るく・楽しく・元氣よく・強めよう地域の絆」をテーマに開催しました。

オープニングセレモニーの津



絆を深めたコミセンまつり

田小児童の演奏で開始すると、館庭は芸能発表会場での歌声や模擬店の前での歓声が飛び交いました。館内は利用団体の方が展示した作品を多くの方が鑑賞しており、今年もテーマ通りの賑やかなまつりでした。

茶房「ふるさと小町」がオープン

津田第三・津田東自治会合同

この茶房は、地域の皆さんが気軽に、お茶を飲み・おしゃべりができる憩いの場として、津田集会所がご利用いただけるように、毎月第4日曜日から午後1時30分～3時30分の予定で津田第三自治会と津田東自治会が合同で10月から始めました。

当面は、高齢の方々を対象としていますが、先には地域の皆さんの、世代間交流の場に発展させたいと願っております。

皆さんがお気軽に立ち寄れる場になることを願って企画をいたしてまいります。



なごやかに歓談中

津田西山長寿会・輪投げ大会

津田西山自治会

11月30日(水)津田西山長寿会主催の輪投げ大会が32名の参加で、ちびっこ広場に於いて行われました。一見簡単に思われがちですが、これがなんと思った所には行かず、試行錯誤を繰り返して四苦八苦しましたが、参加者全員無事に終了しました。

輪投げ会員は、現在15名、毎週水曜日午前9時30分～11時30分までの練習を楽しみに張り切っております。

「和(輪)を以てて尊しとなす」明るく・楽しく・元氣よく・をモットーに、一投入魂に集中し輪投げに励んでおります。

多くの会員の皆様の入会大歓迎、お待ちしております。



ちびっこ広場にて

「防災・防犯パトロール隊」全体会を開催

津田第二自治会

12月11日(日)津田コミセンで隊員57名出席のもと、ご来賓に、市民活動課課長、市毛交番所長、津田小教頭の3名をお迎えし開催しました。

ご来賓の方々から日頃の活動に對してのお礼と、防犯パトロールが犯罪の抑止力になっており、今後も活動を継続して欲しいとのことでした。

活動報告の後、隊員の親睦を図る懇親会を開催し、全体会を完了しました。



全体会の様子

立哨・防犯パトロール員「感謝の集い」を開催

津田第一自治会

2月11日(日)立哨・防犯パトロール員の方への「感謝の集い」を開催。その中で地域の3子供会の児童より日頃の立哨・防犯パトロールに対する感謝の言葉がありました。

引き続き、警察署生活安全課長より「ひたちなか市の犯罪発生状況と対応」と題して講演を戴きました。

講演のなかで、昨年度管内では窃盗事件の多発が指摘されました。

したがって地域における防犯活動が重要になつてまいります。自治会では今後、地域の住民と協力し「安全で安心な地域づくり」を進めてまいります。



熱心に講演を拝聴

自治会研修旅行

市毛南自治会

12月20日(火)市毛南自治会24名は、介護施設敬愛の杜と筑波海軍航空隊記念館を見学しました。

敬愛の杜では、まるでホテルの様な施設に驚きつつ職員さんの説明を受け、介護施設についての理解を深めました。昼食・笠間稲荷散策の後、訪れた筑波海軍航空隊記念館では、ビデオや特攻隊員の遺品などを見学し、平和の尊さを実感した一日でした。



有意義な研修でした

自主防災訓練

堀口自治会

12月4日(日)堀口会館前広場において自主防災訓練を実施しました。

会場では、約90名の参加者があり、ひたちなか消防本部から、消火器の使い方、煙の中の避難方法、応急手当の方法、地震への備え、住宅用防災機器などについての使い方や実施方法について説明を受けました。

今後、備えの強化を図りたいと考えています。田地区の冬の一日でした。



消火器による体験

小地域ネットワーク利用者移動交流会

市毛北自治会

2月8日(水)小地域ネットワーク利用者を対象にした交流会を大洗地域で実施しました。22名が参加し、大洗磯前神社を参拝の後、明太子パークの製造ラインと大洗タワーを見学しました。晴天に恵まれ、周辺から遠景までの景観を望む事が出来ました。

歓談を交えた昼食後には、大洗アクアワールドでのイルカショーなどを観賞し、相互の交流を図りました。



大洗磯前神社にて

湍尾神社の再建・上棟式

武田自治会

甲斐武田氏発祥の地である武田地区には、その氏神さまの湍尾神社(現在再建中)があります。

初春の1月15日(日)その上棟式がおごそかに取り行われました。式後、氏子さんたちによる紅白の餅やお菓子が大量にまかれ、参列していた大勢の人たちが、歓声を上げて素早く拾い集めていました。

神社の完成が待ち遠しい、武田地区の冬の一日でした。



上棟式当日の湍尾神社



上棟式(1月15日)

枝川ふれあいまつり

枝川自治会

12月4日(日)枝川転作センターにおいて第33回枝川ふれあいまつりを開催しました。

小学生の吹奏楽演奏と参加者の皆さんによる踊りが祭りに華を添えました。会場内では芸術作品展示をはじめ、各団体による野菜や餅・手打ちそばなどの模擬店が開かれ好評でした。好天にも恵まれ大勢の来場者があり、地域を挙げての大イベント・交流会が盛大にできました。



楽しい踊りにより盛大に開催しました

子ども餅つき大会

勝田本町自治会

1月15日(日)恒例の餅つき大会が、勝田本町自治会館で、好天のもとにぎやかに開催されました。子ども会と青年部が中心になり、約80名の大人、子供が集まり、楽しく元氣よく行われました。

自分たちがつき上げた餅をお母さんたちが作ってくれた「あんころ餅やきな粉餅」などにしてもらって、皆でほおばり、楽しい一日を過ごしました。



楽しくできた餅つき大会



土笛 (Soyaku) and ピアノ演奏 (Piano Performance)



お知らせコーナー
平成29年度
二中学区地域の輪をつくる会
定期総会のご案内
日時 4月22日(土) 午後1時30分
場所 市毛コミュニティセンター

ふくわの集いご芳志
○ひたちなか市長
○ひたちなか市議会議長
○新井接骨院
○シミズ空調サービス
○市毛鹿島神社
○船勢鮎
○二中学区地域の輪をつくる会 前会長
○二中学区地域の輪をつくる会 軍司 清 様
○二中学区地域の輪をつくる会 前文化部長 永井 正男 様
ご芳志ありがとうございました。 順不同

自治会自慢
子ども神輿巡行の安全確保
津田第二自治会
11月23日(水)勤労感謝の日、各子供会育成会が、華やかに飾りつけた子ども神輿3基で、地域内を巡行しました。各神輿に防災・防犯パトロール隊員10名が誘導員・監視員として前方・側方・後方で安全を確保し、子どもたちは大きな声を出し、太鼓をたたきながら練り歩くと、近所の方が笑顔で迎えてくれ、子どもたちを地域で支えた神輿巡行でした。
子ども会の神輿巡行